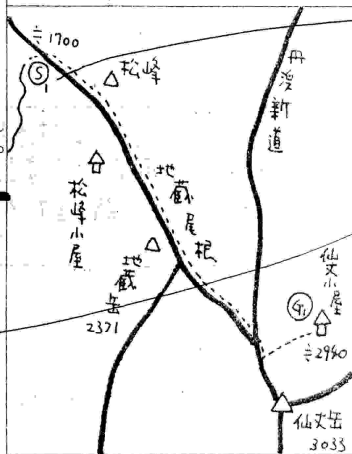


山名	柏木上から仙丈小屋 (2,940m)		
コースタイム 及ム	1 1 / 2	(1,200m) 地点 7:45 → 戻り 8:25 → 柏木上(1,700m) 地点 9:15 → 9:20 三峰川源頭 13:00 → 馬ノ背への交点 15:00 → 仙丈小屋 (避難小屋) 泊 15:10	
標高差	△S 柏木上(1700) ~ T 仙丈小屋(2940) ≠ 1,240m	体力度	距離が長い
	▽T ~ G ≠ m	危険度	特になし
第2日目	6:00起床。寝袋を片付け食事の準備。加藤の手際なかなか良い。アルファ米と味噌汁等で食事を早々に済ませ出発準備に取りかかる。荷重チェックでCL20kg・大根田20kg・加藤20kg・高岡17kgで出発。ゆるやかな下り道を地藏尾根に向かって進む。昨夜の崖崩れ跡まで行き、標高が1,200mしかなくどうも違うらしいという事で引き返す。これでは今日中に仙丈岳迄行けるか心配になる。		
	この付近の唐松の紅葉は素晴らしい。遠くに見える山々も真黄色に見える。車を移動して目的の登山口、柏木上に着く。出発時間も遅くなり今日の目的地、長衛小屋キャンプ場までは無理との事で仙丈小屋(避難小屋)までに変更。		
	<p>出発点からの小道は唐松の紅葉した黄色い絨毯であった。ゆるやかな登りになっている森林の道は視界もなく黙々と歩くのみ。松峰を迂回して地藏岳への登りに入る頃から植生もコメツガ・シラベの原生林となる。2回目の小休止頃から小雨となり雨衣を着用。加藤ここで雨衣(上)を車に置いてきたのに気づく。このコースは最近歩いた形跡もなく、倒木の上を越えたり下を潜ったり、迂回したり又小さなアップダウンのコースの為か歩くのが少しきつくなってきた。</p> <p>三峰川源頭(2420 m) 付近からダケカンバの林。すぐ岩稜帯となりジグザグの急登になってきて高岡の立ち止まる回数が多くなってきた。ガスの為視界がなく高度計のみで概略の地点確認のみ。這松帯頃から風も強くなってきて、岩尾根で加藤が風の為 身体がぶらつき、CLから歩行方法の注意を受ける。岩と這松に捕まりながら登行。</p> <p>ようやく砂礫になり目的地に近い所まで来ていると思ってから間もなく、馬の背の交点らしい所に着く。よく方向確認後、仙丈小屋を目指しガレ場を下る。小屋に着き一安心。今日は疲れた。</p>		



出発地
≒1700m